

琵琶湖の保全・再生とCO₂ネットゼロに向けた森林づくりの推進

- 本県の森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させることにより、琵琶湖の水源涵養、淀川水系の流域治水、国土保全や地球温暖化防止を図る

【要望先】財務省、農林水産省

1. 提案・要望内容

(1)森林整備事業に対する財政支援

- 琵琶湖の保全・再生と淀川水系流域治水に向けた健全な森林の育成や、「しがCO₂ネットゼロ」等の実現に向けて、森林吸収源対策を強化するとともに、花粉発生源対策を強化するために、主伐・再造林や奥地における間伐の推進などの森林整備に対する財政支援

(2)治山事業に対する財政支援および実施要件緩和

- 山地災害復旧、流域治水、国土強靱化を推進するため安定的な財政支援
- 山地災害未然防止に資する治山施設の機能強化・老朽化対策事業の実施要件緩和

2. 提案・要望の理由

(1)森林整備事業に対する財政支援

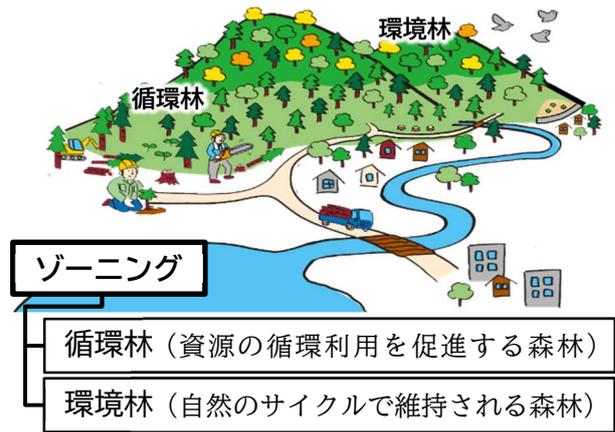
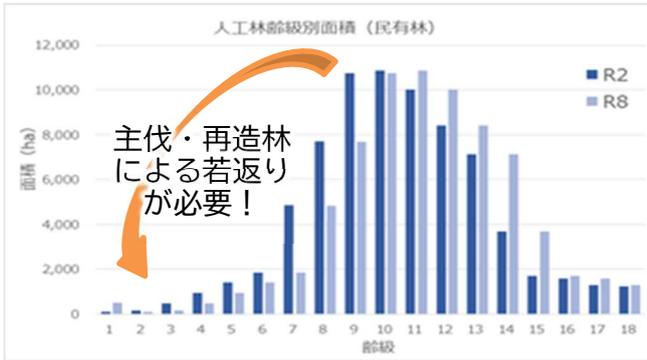
- 本県は、森林の適正管理、林業の成長産業化、さらには農山村の活性化による「やまの健康」に取り組んでいる。
- 喫緊の課題である地球温暖化対策のために、本県は「しがCO₂ネットゼロ」に取り組んでおり、主伐・再造林による森林資源の若返り等による森林吸収源対策の強化とともに、花粉発生源対策として、少花粉スギへの植え替えや、生物多様性の保全に向けて奥地における間伐等による多様で健全な森林の整備が必要。
- 本年6月に6つの森林組合が合併し、全国で有数の規模となる予定。組織・経営基盤の強化につながるよう、今後の事業展開に向けた積極的な支援が必要。

(2)治山事業に対する財政支援および実施要件緩和

- 気候変動の影響により大雨の発生頻度がさらに増加することが懸念されるなか、災害復旧工事の早期完了や、防災・減災、国土強靱化のために治山事業への安定的な財政支援が必要。
- 治山施設は、人家や公道等重要なインフラの被災を未然防止しているだけでなく、公益的機能を有する森林も保全しており、琵琶湖を有する本県において水源涵養および水質保全に貢献している水源森林を保全する既存治山施設を対象とした機能強化・老朽化対策事業について、実施要件の緩和が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 森林整備事業に対する財政支援(取組状況)

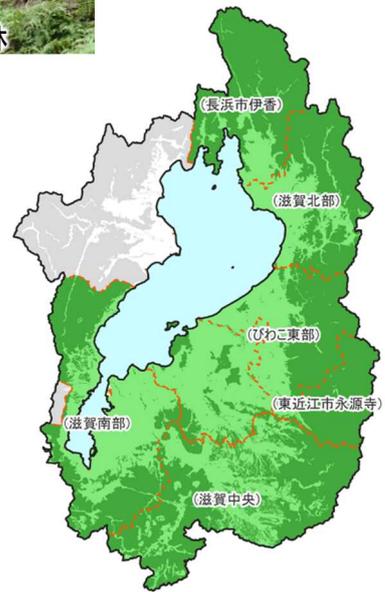


・森林組合合併の状況

令和6年6月に6組合が合併し、「滋賀県森林組合」が設立予定。合併により経営基盤が強化され、主伐・再造林や森林整備の一層の促進が期待される。

【新組合の規模】

- ・地区内森林面積 …157,400ha (全国1位)
- ・組合員数 …19,457人 (全国2位)
- ・出資金 …394,160千円 (全国10位)



合併後の森林組合のエリア

(2) 治山事業に対する財政支援(取組状況)

機能強化・老朽化対策

昭和53年度に施工された床固工



堤体全体にアルカリ骨材反応(ASR)とみられるひび割れ(最大20mm)、放水路天端部の欠損、および基礎部の洗掘が見られた

令和4年度機能強化・老朽化対策



- ・堤体の増厚
- ・水通し部の取壊し・新設
- ・水通し幅の拡張
- ・天端の石張工による摩耗防止
- ・根継工および根固め工
- ・堤体上流側のひび割れ補修工

担当：琵琶湖環境部 森林政策課 TEL 077-528-3914
 森林保全課 TEL 077-528-3930